

（件名） NATAS TRAVEL FAIR 2022 への参加について

シンガポールをはじめ、ASEAN 各国では新型コロナウイルス感染症による行動規制が撤廃されつつあり、大規模な旅行博や展示会が続々と再開している状況です。

そんな中、約 3 年ぶりに実施されたシンガポール最大級の旅行博「NATAS TRAVEL FAIR 2022」に当事務所も参加しましたので、今回のレポートではその様子についてご紹介いたします。

■NATAS TRAVEL FAIR 2022 概要

- ・日 時：2022 年 8 月 12 日（金）～ 8 月 14 日（日）10 時 ～ 21 時 30 分
- ・主 催 者：National Association of Travel Agents Singapore（シンガポール旅行代理店協会）
- ・出 展 者：JNTO（日本政府観光局）、JTB、地場旅行代理店など、計 40 以上の企業・団体
- ・会 場：Singapore Expo Hall 5
- ・内 容：一般消費者向けの国際旅行フェア
- ・来場者数：3 日間累計 6 万人（2019 年：約 12 万人）

■当事務所の取組内容**（1）来場者対応**

- ・ JNTO のブース内で、在シンガポールの自治体等(※)と共同で観光情報の提供を実施しました。
- ・ ブースを訪れた来場者と実際に会話をしたところ、次のような声がありました。
 - 日本はいつ外国からの個人旅行客の受入を再開するのか。再開したら是非北海道を訪れたい。
 - 日本はまだ入国前の PCR 検査は必要なのか。入国後の検査もあるのか。
 - 北海道では是非セルフドライブ（レンタカーを借りて、自分で運転する旅行形態のこと）をしたい。
 - 紅葉はいつ見頃を迎えるのか。
 - 北海道では、やはりスキーがしたい。ニセコに行きたい。
 - 北海道旅行をするならどの時期がおすすめか。日本は四季があるので、いつ訪れるか迷ってしまう。
- なかでも多く寄せられたコメントとして、日本はいまだに外国からの個人旅行客の受入を再開していないことについてでした。（現在、旅行目的での日本入国については、一定条件の下、ツアー客のみ受入を許可している状況）
- (※) 北海道、新潟県、石川県、長野県、茨城県、神奈川県、静岡県、愛媛県、高知県、熊本県、沖縄県、民間企業 3 社（JR 東日本、JR 東日本ホテルズ、JR 西日本ホテルズ）での共同対応。また、JTB 社のブースにおいては、旭川市が出展。

（2）パンフレットや観光マップの配布

- ・ JNTO ブースでは、各都道府県・市区町村の観光パンフレットが多数設置されており、日本への旅行に興味がある多くの来場者が全国各地のパンフレットを持ち帰っていました。当事務所からも、3 日間で合計 600 部ほどのパンフレットを用意しましたが、各日すぐに在庫切れになってしまうなど、北海道旅行への興味関心が高いことが窺えました。

（3）北海道観光 PR 動画の放映

- ・ JNTO ブース（ステージ）にて、北海道の観光 PR 動画を放映しました。
- ・ 雪やグルメの動画を放映したところ、多くの来場者が足を止めて動画をご覧になっていました。

■所見

シンガポールでは、新型コロナウイルス関連の各種規制の多くが既に撤廃されており、このような大規模なイベントも徐々に再開している状況です。コロナ禍では、各種規制の影響によりオンラインで活動せざるを得ない状況が続きましたが、今回のようにオフラインイベントに参加し生の声を聞くことにより、訪日旅行（北海道旅行）を待望するシンガポリアンの多さを実感できました。

一方、9月7日（水）から、①ワクチン3回接種者に対する日本入国前のPCR検査の撤廃 ②添乗員を伴わないパッケージツアーでの入国を許可 ③1日あたりの入国者上限の引き上げ（2万人→5万人）などの水際対策の緩和が実施されますが、シンガポールの多くの方々はビザの緩和（現在、日本への入国のためには観光ビザの取得が必要）など、更なる緩和を待っているようでした。

<NATAS FAIRの様子>



来客対応を行う自治体職員の様子
（向かって右2名が当事務所職員）



北海道観光 PR 動画の放映風景



各自治体パンフレットの設置風景



多くの来場者で賑わう様子